

日南海岸サイクルツーリズム構想(案) 説明資料



目次

- ①日南海岸サイクルツーリズム構想(案)構成図……………P.1
- ②日南海岸サイクルツーリズム構想(案)説明図表……………P.2
- ③日南海岸サイクルツーリズム協議会名簿……………P.41
- ④日南海岸サイクルツーリズム協議会における検討経緯…P.44

日南海岸サイクルツーリズム協議会
平成28年2月23日(火)

日南海岸サイクルツーリズム構想(案)構成図

第1章 はじめに

- ①策定の意義: 広域的かつ総合的な観点から重点的に取組むべき対応方針を明確化した構想を策定
- ②対象エリア: 日南海岸を縦走する国道220号、448号を基軸に、両線に接続する県道、市道等も含む

第2章 日南海岸の現状と課題

第1節 日南海岸が有する多様な地域資源

①南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源

- ・ 日南海岸は鬼の洗濯岩、堀切峠、いるか岬、都井岬などの著名な景勝地で形成
- ・ 青島、御崎馬は国の天然記念物が存在
- ・ フェニックスなどの亜熱帯植物の宝庫
- ・ ハイビスカスなどの鮮やかな花々が多数生息
- ・ 道路は日南フェニックスロードの愛称で親しまれ、日南海岸きらめきラインとして日本風景街道に登録

②神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- ・ 青島神社、鵜戸神宮をはじめとする有名な歴史文化資源が点在
- ・ 飫肥城跡周辺や堀川運河、杉村金物本店、旧軽便鉄道など歴史的魅力的な高い資源も存在
- ・ 道の駅「なんごう」「酒谷」「フェニックス」、港の駅「めいつ」も個性ある観光資源

第2節 サイクルツーリズムの気運の高まり

①国内におけるサイクルツーリズムの普及

- ・ 瀬戸内しまなみ海道や宇都宮市の「ジャパンカップ」など先進地域では取組拡大
- ・ サイクリングと観光を結び付けた地域振興の新たな取組の普及拡大

②日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

- ・ 需要拡大への地域の機運の高まり
- ・ 近年継続開催するイベントを通じた参加者と地域の交流や地域の一体的な取組によるにぎわい創出、ぼたりんぐ等実施への動き
- ・ クルーズ船寄港によるインバウンド観光における将来的な活用可能性への期待やサイクルトレインなど利便性向上への多様な機関と連携した取組

課題

- ・ 国内外のサイクリストへ情報発信不足
- ・ サイクリスト受入体制づくりへの方向転換

第3章 目指す将来像

第1節 日南海岸サイクルツーリズムの実現に向けた基本理念

⇒ サイクルツーリズムにおける地域ブランドを確立して日南海岸の賑わい創出を図る

第3節 将来像を描く計画期間

今後概ね10年間

第2節 目指す将来像

①明確化された自転車走行空間と確立された走行サポート環境	魅力あるサイクリングロードのある地域
②サイクリスト増加による新たな需要拡大	サイクリスト来訪による新たに需要が拡大する地域
③魅力再発見による新たな観光スタイル創出	何度も訪れたい魅力ある地域

第4章 基本的な対応方針

第1節 日南海岸の多様な地域資源を有機的に結びつけたサイクリングルートの提供（5つの視点）

①レベルを考慮

- ・ 上級者、中級者、初級者の3レベルを考慮

②魅力スポットをつなぐ

- ・ 発着地を鉄道駅や港とし、魅力スポットを周遊

③全路線が候補

- ・ 国道220号を基軸に、県道、市道など全路線を候補

④エリア特色を反映

- ・ 日南海岸の特色を感じ、魅力を満喫してもらえる内容

⑤安全性・快適性

- ・ 特殊部は迂回路を設定し、安全性と快適性に配慮

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

①日南海岸の実情に応じた自転車走行空間の整備

- ・ 既存道路用地を活かした整備推進
- ・ 走行環境を向上させる新技術の活用推進

②サイクリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充

- ・ 様々なシーンを想定したサポート環境の整備推進
- ・ サイクリングロードを案内・誘導するサイン整備推進

③サイクリストの利便性を高める取組の推進

- ・ 多様な媒体で有益情報を発信する仕組みや気軽に自転車に乗入れできる利便性の高い地域づくり促進
- ・ 初心者から上級者まで気軽にサイクルできる取組促進

④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供

- ・ 国内外サイクリストが憩い、くつろぐことができる場づくり“おもてなし”サービスに関する情報発信の促進

⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進

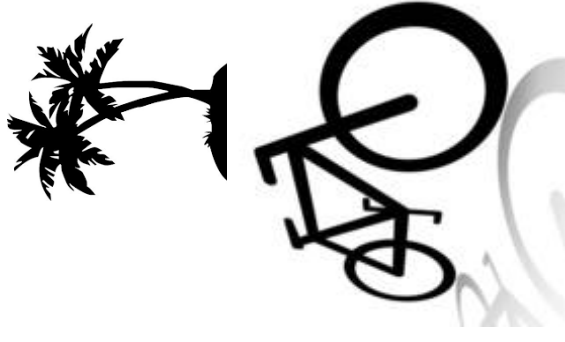
- ・ 既存大会の運営促進及びイベント開催の波及効果を効果的に取り込めるような地域の一体的な取組促進

⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組

- ・ 官民一体となった新たな取組や地域とサイクリストの交流の橋渡しを担う人材育成の促進

第5章 構想の実現に向けて

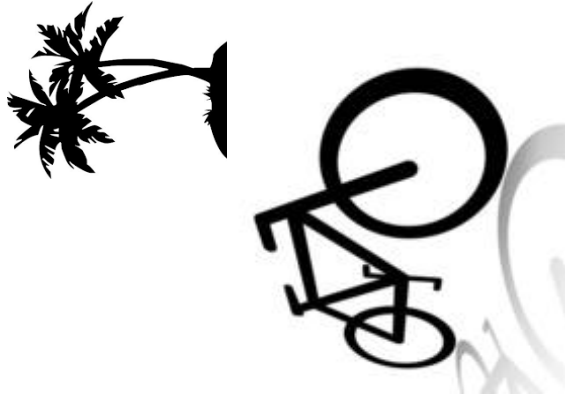
・ 短中長期的視点で多様な主体と連携した効率的かつ重点的な取組推進



日南海岸サイクルツアーリズム構想(案)説明図表

本説明図表は、必ずしも構想本文に掲載されている内容に限ったものではなく、構想本文のイメージを理解し易くするため、本構想の趣旨を踏まえて参考として提示しているものです。

第1章 はじめに



日南海岸サイクルツーリズム協議会

1. 構想策定の意義

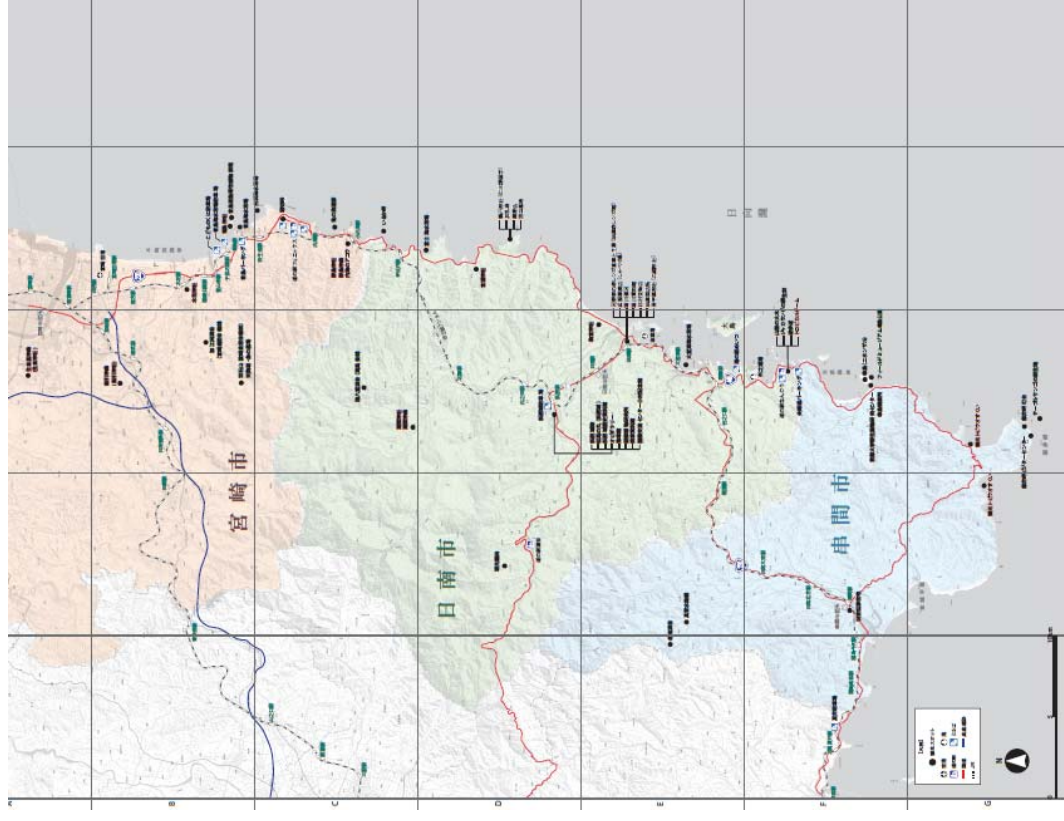
近年のサイクリングブームにより、日南海岸においてもサイクリストの走行が見られるようになった。また、国道220号を基軸に毎年開催されている「グレイトアース宮崎ライド」には県内外から多くの参加があるなど、盛り上がりを見せている。



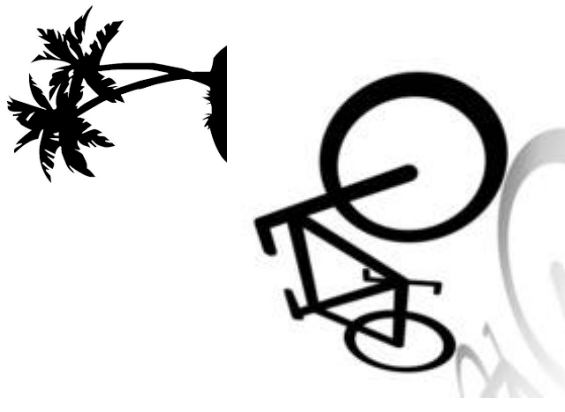
この機運を更に増進させるため、風光明媚な日南海岸を縦走する国、県、市道等をサイクリングロードと位置付け、その利用を促進させることが求められている。こうした地域の要請に応えていくため、広域的かつ総合的な観点から日南海岸の今後の自転車利用環境の形成に関して重点的に取り組むべき基本的な対応方針を明らかにする日南海岸サイクルツーリズム構想を策定するものである。

2. 構想の対象エリア

- 日南海岸を縦走する国道220号、448号を基軸に、両線に接続する県道、市道等も含む



第2章 日南海岸の現状と課題



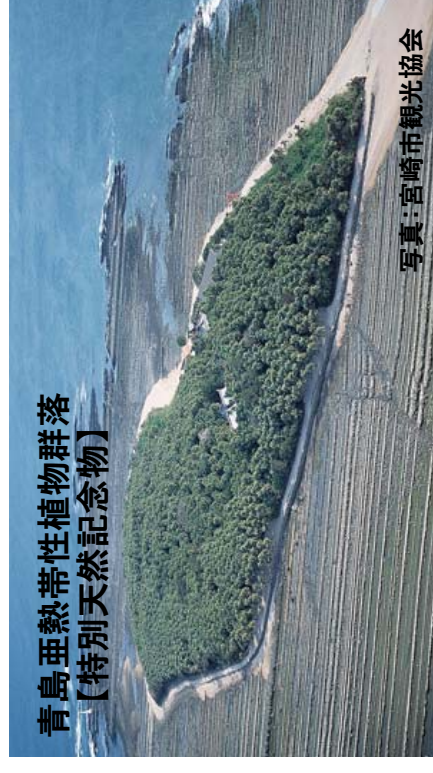
日南海岸サイクルツーリズム協議会

第2章 日南海岸の現状と課題

第1節 日南海岸が有する多様な地域資源

1. 南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源

- 日南海岸は**鬼の洗濯板**、**堀切峠**、**いるか岬**、**都井岬**(御崎馬)等著名な景勝地で形成
- 海岸線沿線の道路は、**フェニックス**など**亜熱帯植物の宝庫**
- 国の天然記念物である青島や御崎馬、特別天然記念物の青島亜熱帯性植物群落
- **“南国宮崎”**と称されるにふさわしい**花々や雄大な海や空**



第2章 日南海岸の現状と課題

1. 南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源

- 宮崎市から日南市を経て鹿児島県に至る海岸線は**日南海岸国定公園**に指定
- 国道220号などは「**日南フェニックスロード**」の愛称で親しまれている
- 「**日南海岸きらめきライン**」として日本風景街道にも登録

日南海岸国定公園



国道220号日南フェニックスロード



日南海岸きらめきライン



第2章 日南海岸の現状と課題

2. 神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- “神話のふるさと宮崎”を象徴する青島神社、鵜戸神宮など歴史文化資源が点在
- 日南市北郷町の潮獄神楽など神話にゆかりある神社も多数
- 重要伝統的建造物群保存地区に指定される飫肥城跡及び武家屋敷周辺地区



写真：宮崎市観光協会HP



写真：日南市観光協会HP



写真：日南市観光協会HP

第2章 日南海岸の現状と課題

2. 神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- 南宮崎から青島を経由し、内海までの海岸線を運行していた**旧軽便鉄道**
- 日南市油津の老舗**杉村金物本店**の**赤レンガ造りの倉庫**や**油津赤レンガ館**や**油津の町並み**と**堀川運河**沿いの**歴史的風致**
- 3つの**道の駅**「**なんごう**」、「**酒谷**」、「**フェニックス**」や**港の駅**「**めいっ**」等個性ある資源



旧軽便鉄道



杉村金物本店

写真: 日南市観光協会



油津赤レンガ館



道の駅フェニックス

写真: 宮崎市観光協会HP



道の駅なんごう

写真: 日南市観光協会



道の駅酒谷

写真: 日南市観光協会



港の駅めいっ

写真: 日南市観光協会



堀川運河

写真: 日南市観光協会

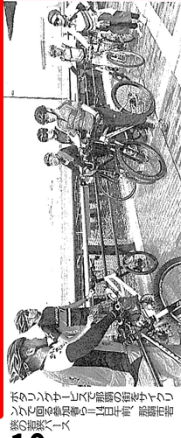
第2章 日南海岸の現状と課題

第2節 サイクルツーリズムの気運の高まり

1. 国内におけるサイクルツーリズムの普及

- 愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」は海を渡る自転車道
- 独自性を活かした魅力を全国に発信し、サイクリスト受入に向け官民一体で取組
- 栃木県宇都宮市では、経済効果の大きい「ジャパンカップ」を毎年開催

自転車観光普及広がる



新たな需要拡大へ

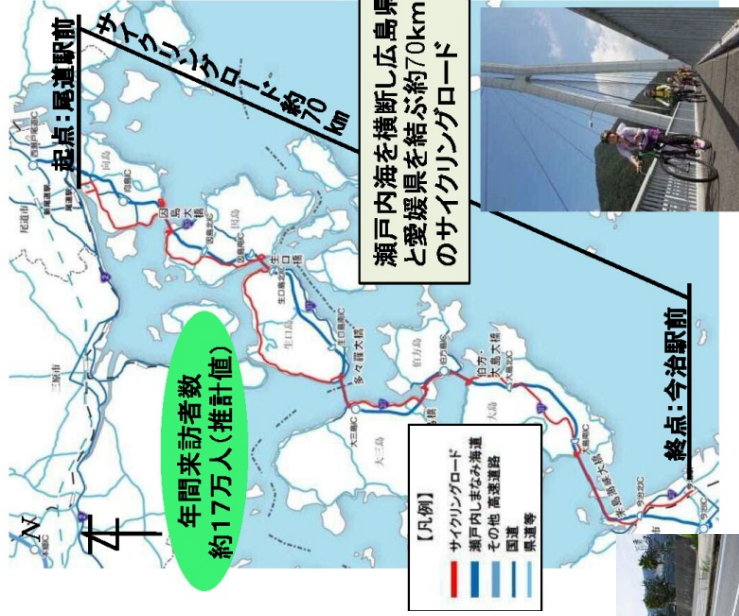
自転車観光の需要は、近年、全国的に拡大している。特に、日南海岸の「しまなみ海道」は、その代表例として全国的に知られるようになった。この道は、瀬戸内海の島々を結ぶ自転車道であり、美しい風景と歴史を感じさせる。また、近年では、サイクリングロードの整備が進み、多くの観光客が訪れている。さらに、サイクリングツアーや宿泊プランなどのサービスも充実しており、新たな需要が生まれている。今後も、さらなる整備とサービスの向上により、自転車観光の普及が期待される。

路地散策、宿泊プランも

また、近年では、路地散策や宿泊プランなどのサービスも充実している。特に、瀬戸内しまなみ海道では、サイクリングロードの整備が進み、多くの観光客が訪れている。さらに、サイクリングツアーや宿泊プランなどのサービスも充実しており、新たな需要が生まれている。今後も、さらなる整備とサービスの向上により、自転車観光の普及が期待される。

▲琉球新報新聞(2015年12月18日)

■しまなみ海道サイクリングロード



▲瀬戸内しまなみ海道

■ジャパンカップ・サイクルロードレース (宇都宮市)

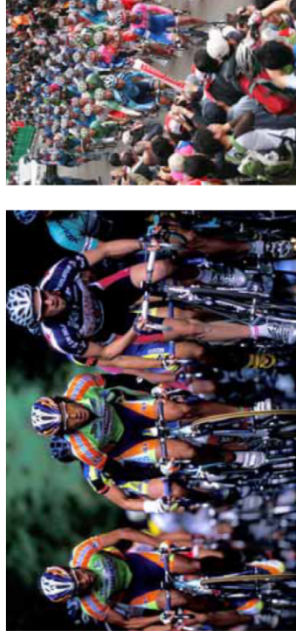


写真 ジャパンカップの状況

経済効果
約20億円

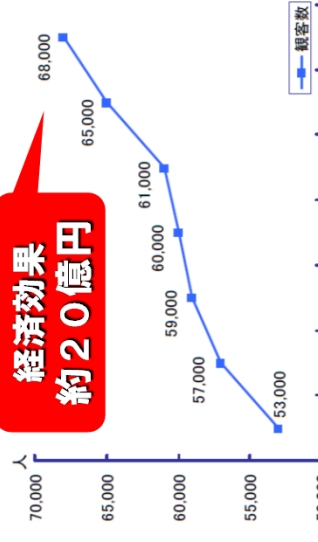


図 ジャパンカップ観客動員数の推移 国土交通省資料

▲ジャパンカップ(宇都宮市)

第2章 日南海岸の現状と課題

1.国内におけるサイクルツーリズムの普及

- ▶ 北海道では民間主導で地域の魅力をつないだサイクリングツアーを企画
▶ 奈良県ではスタンドなど受入施設が充実した休憩所の認定や情報発信を展開
▶ 岐阜県飛騨高山では、里山サイクリングを案内するガイドの育成を推進

北海道サイクリングツアー



出典: Let's ほっかいどう そらち+いしかり de サイクリングHP

奈良県 休憩施設情報発信



五典：奈良県自動車利用総合案内サイト

岐阜県 山サイクリングガイド



出典：飛騨里山サイクリングHP

**サイクリングと観光を結びつけた地域振興の新たな取組
となるサイクルツーリズムの動きが全国に拡大中**

第2章 日南海岸の現状と課題

2.日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

- 野島神社は安全なサイクリングを祈願する飢肥杉を使用したお守り作製
- トライアスロンNTC拠点としてシーガイアが指定
- サイクルイベント「グレートアース宮崎ライド」を2012年から毎年開催



▲宮崎日日新聞(2015年12月15日)



▲宮崎日日新聞(2015年12月5日)



▲グレートアース宮崎ライド2015チラシ

第2章 日南海岸の現状と課題

2. 日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

- 串間市では「わくわくサイクリングinくしま」を2015年から開催
- 日南市では、市内回遊性向上を目的に“ぽたりんぐ”をテーマにした社会実験展開

わくわく
サイクリング
くしま
in 2015 秋

平成27年度後援市にぜひご出展ください

串間のおいしい
エイドも
ご用意!

先着で!

ロードバイク、クロスバイクの貸出あり!

試乗体験!

ロードバイク、ストライダー（キッズ用）
バイク等の試乗体験コーナーあり!

と き

2015.10.25日

お 金

無料

お申し込み方法

利用/登録は無料!

スポーツイベントリリー
WEB サイトから簡単登録!

URL: <http://www.sportsfestival.jp/event/kyodok83>
詳しくはこちら! スポーツイベントリリー 検索

TEL 0970-550-946 FAX 0120-37-8434

【中】

【夜】

前夜

ご質問・お問い合わせは、
TEL 090-9598-8214
主催・串間市サイクリング



▲日南市“ぽたりんぐ”社会実験

2 社会実験の内容

「街中や観光地へ訪問しやすい環境を検証する サイクルラックの設置」

- ## 1 サイクリング環境の検証

2 実験期間



社会実験の
ならい

- ① サイクリストの動きや消費の傾向を把握する。
- ② 県南地区内の回遊を促す仕組みづくりなどを検証する材料とする。
- ③ 今後、「サイクルステーション」整備に向けた機能内容の検証材料とする。
- ④ 日南海岸サイクルツーリズム協議会へ提供できる資料となる。



- 3 設置場所
湖の村・鶴戸神宮観光駐車場・堀川夢ひろば・油津商店街・道の駅酒匂、なんごう・舩城城観光駐車場
- 4 実験の周知方法・検証方法
宮崎県内のスポーツ・サイクリングショップへの周知や、SNSを活用することでラック設置の情報発信を行い、利用客へのアンケート等を実施する。
その後、日南海岸へ市内ルートに対するサイクリストの感想・要望や、情報発信の内容・媒体について検証を行う。
- 5 実施体制（平成27年10月現在）
日南市サイクリング協会・串間市サイクリング協会・日南海岸地域シーバックウェイ推進協議会・日南市
- 6 今後の展開
平成28年度から「日南海岸サイクリングツーリズム協議会」と一体的に取り組んでいきたい。

第2章 日南海岸の現状と課題

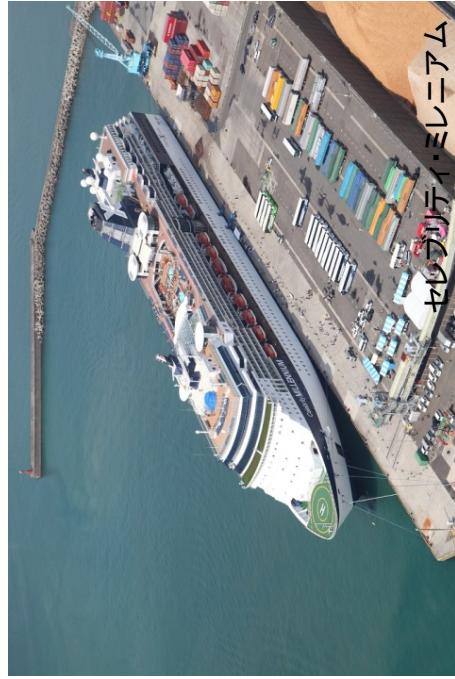
2.日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

- 増加する油津港の大型クルーズ船客を取込む、将来的な自転車活用可能性へ期待
- 2013年にJR日南線でのサイクルトレイン社会実験により他機関連携への動き

大型客船が相次ぎ入港する油津港



クァンタム・オブ・ザ・シーズ



セレブリティ・ミレニアム

▲油津港のクルーズ船

サイクル需要のあるクルーズ船客

台湾サイクリスト



台湾から石垣に到着したクルーズ船「スーパースター・アクエリアス号」から降りて来たのは、ヘルメットにサイクリングジャズを着た台湾の自転車協会の会員ら136人。

8日前10時半、船が着岸。会員らは同11時すぎには入国手続きを終え、マイバイクにまたがって石垣島を1周する105*、野底を回る75*、川平湾を折り返す40*の三つのコースに分かれて出発した。

中華民国自転車協会の李哲欽会長によると、同会には約3000人の会員があり、1年に1度海外で実施している自転車ツアーの目的地に石垣島を選んだ。「(石垣島は)自転車に乗るには最高の場所。景色がよく、道が分かりやすく、迷子になら

▲八重山毎日新聞(2015年10月9日)



※サイクルトレインイメージ

第2章 日南海岸の現状と課題

まとめ

- 日南海岸におけるサイクリング利用拡大への兆しがある中、多様な地域資源を活かした、さらなる取組の推進が必要

日南海岸が有する多様な地域資源

- ・南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源
- ・神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源



サイクルツーリズムの気運の高まり

- ・国内におけるサイクルツーリズムの普及
- ・日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し



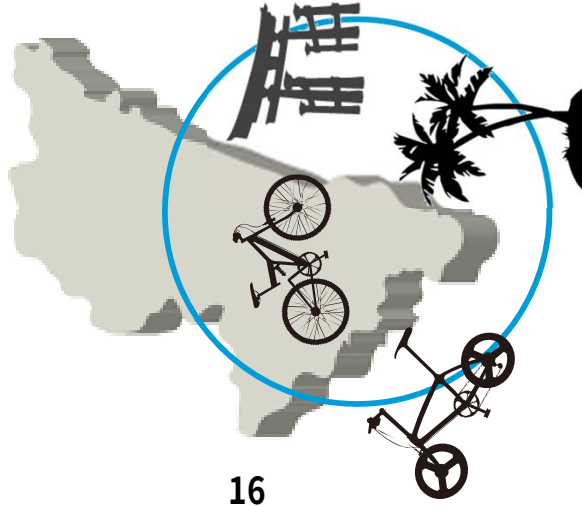
**日南海岸
サイクルツーリズム
取組推進！**

第2章 日南海岸の現状と課題

課題

- 日南海岸サイクルツーリズム取組推進に向けた現時点の課題

①国内外のサイクルリストへ情報発信不足



日南海岸
サイクルツーリズム



積極的信息発信が必要



②サイクルリスト受入体制 づくりへの方向転換

連続的なブルー
ラインがない



案内サインがない
現在地が不明



駐輪スタンドが
限定的



サイクリングマップ
がない



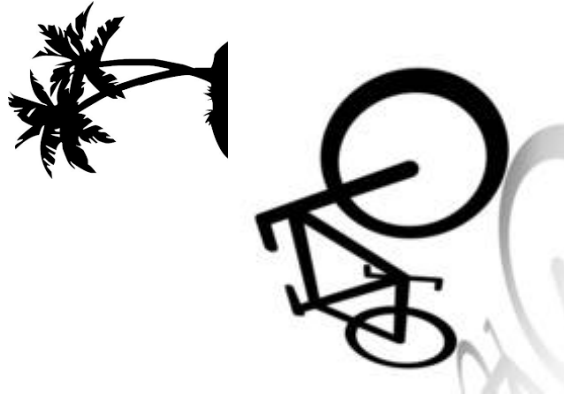
サイクリングガ
イドがない



サイクルトレイン
など多様な利用
ができない



第3章 目指す将来像



日南海岸サイクルツーリズム協議会

第3章 目指す将来像

第1節 日南海岸サイクルツーリズムの実現に向けた基本理念

- 日南海岸サイクルツーリズムとしての地域ブランドを確立して
日南海岸の賑わいの創出を図る

第2節 目指す将来像

①明確化された自転車走行空間と確立された走行サポート環境

国内外のサイクリストを惹きつける魅力あるサイクリングロードのある地域となること

②サイクリストの増加による新たな需要拡大

国内外のサイクリストが訪れることで新たな需要を拡大する地域となること

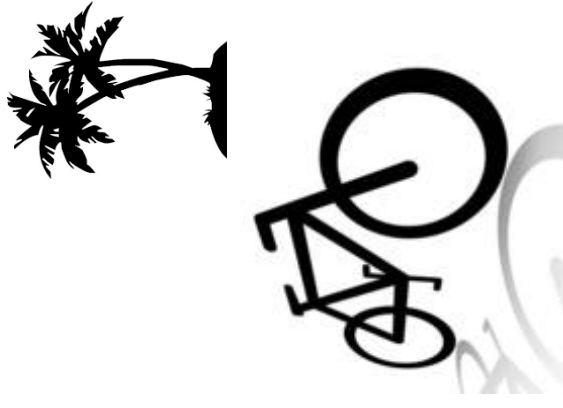
③魅力再発見による新たな観光スタイル創出

国内外のサイクリストが何度も訪れたくなる魅力ある地域となること

第3節 将来像を描く計画期間

- 将来像を描く計画期間は今後概ね10年間

第4章 基本的な対応方針

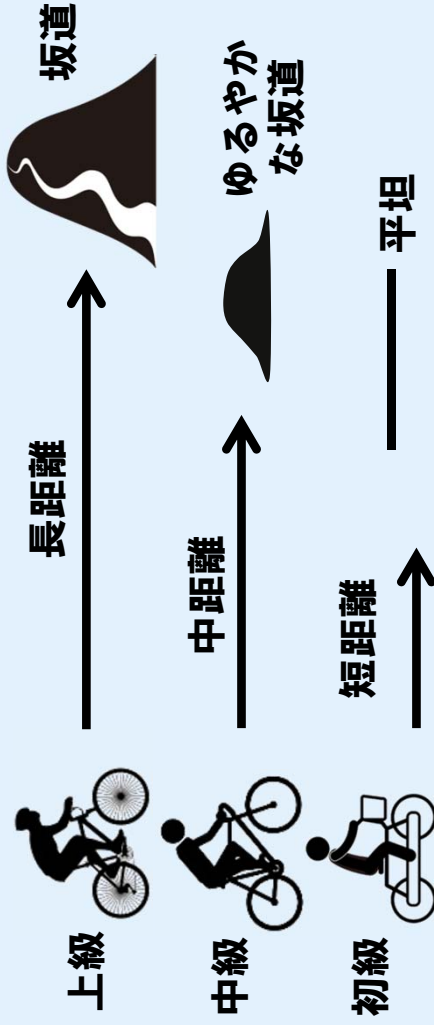


第4章 基本的な対応方針

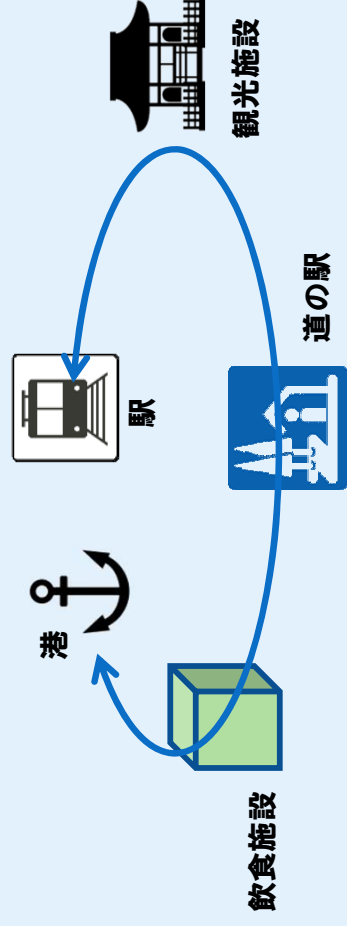
第1節 日南海岸の多様な地域資源を広域的に結びつけたサイクリングルートの提供

- サイクリストの多様なニーズに応えつつ、**日南海岸にある多様な地域資源**を十分に活かすため、**5つの視点**からサイクリングルートを設定

①レベルを考慮



②交通拠点等を起点に魅力スポットをつなぐ



③日南海岸周辺全路線が候補

※国道220号を中心に県道、市道なども対象

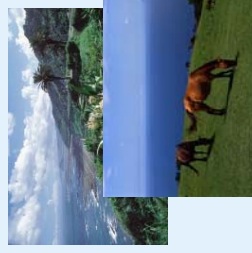


④エリア特色を反映

歴史文化を感じる



日南海岸の景観を楽しむ

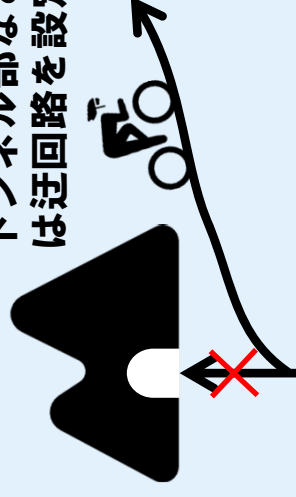


坂道に挑む



⑤安全性と快適性に配慮

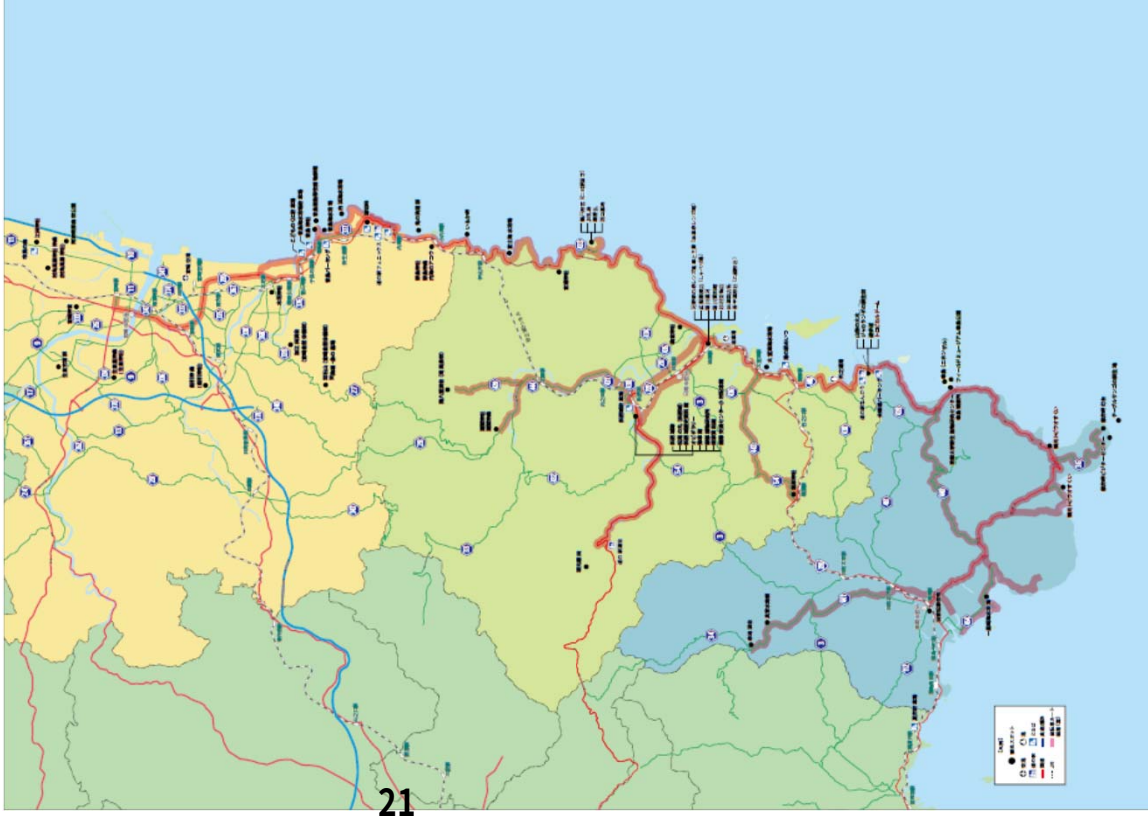
トンネル部などは迂回路を設定



第4章 基本的な対応方針

【参考】サイクリングルート(案)

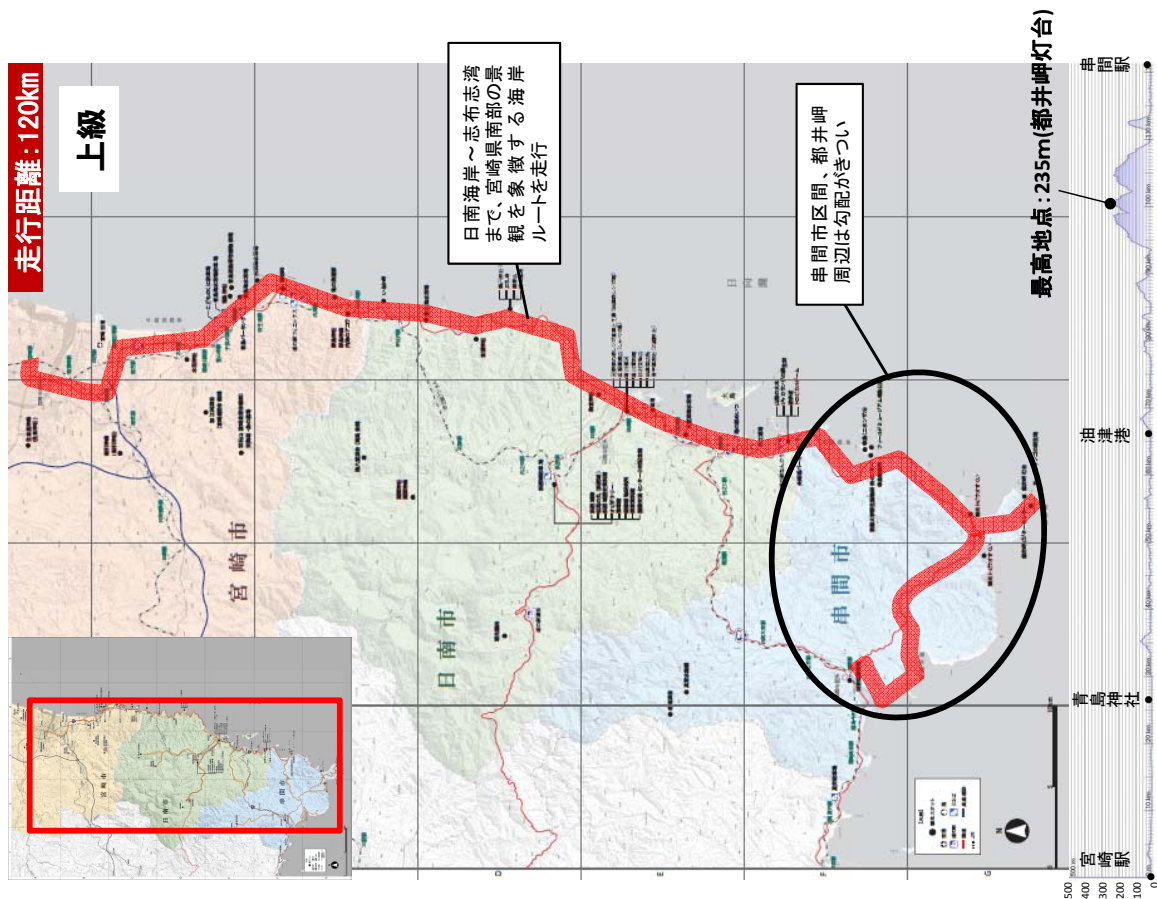
➤ サイクリングルート設定5つの視点に基づいた12ルート



No.	サイクリングルート名	走行距離	レベル
1	宮崎市南部海岸沿い・長距離ルート	120km	上級
2	宮崎駅～いるか岬ルート	①29km ②27km	中級
3	青島・堀切峠・ポタリング向けルート	15km	初級
4	鵜戸神宮周辺ルート	30km	中級
5	飫肥城周辺歴史散策ルート	①23km ②20km	中級
6	季節限定、神楽探訪ルート	24km	中級
7	南郷川流域をゆったり走るコース	13km	初級
8	景勝地を巡る南郷・海岸沿いルート	8km	初級
9	上級者向けヒルクライムルート	28km	上級
10	串間市の観光メッカ・都井岬周遊ルート	25km	中級
11	本城干潟ポタリングルート	15km	初級
12	福島川・水路橋・赤池渓谷ルート	17km	中級

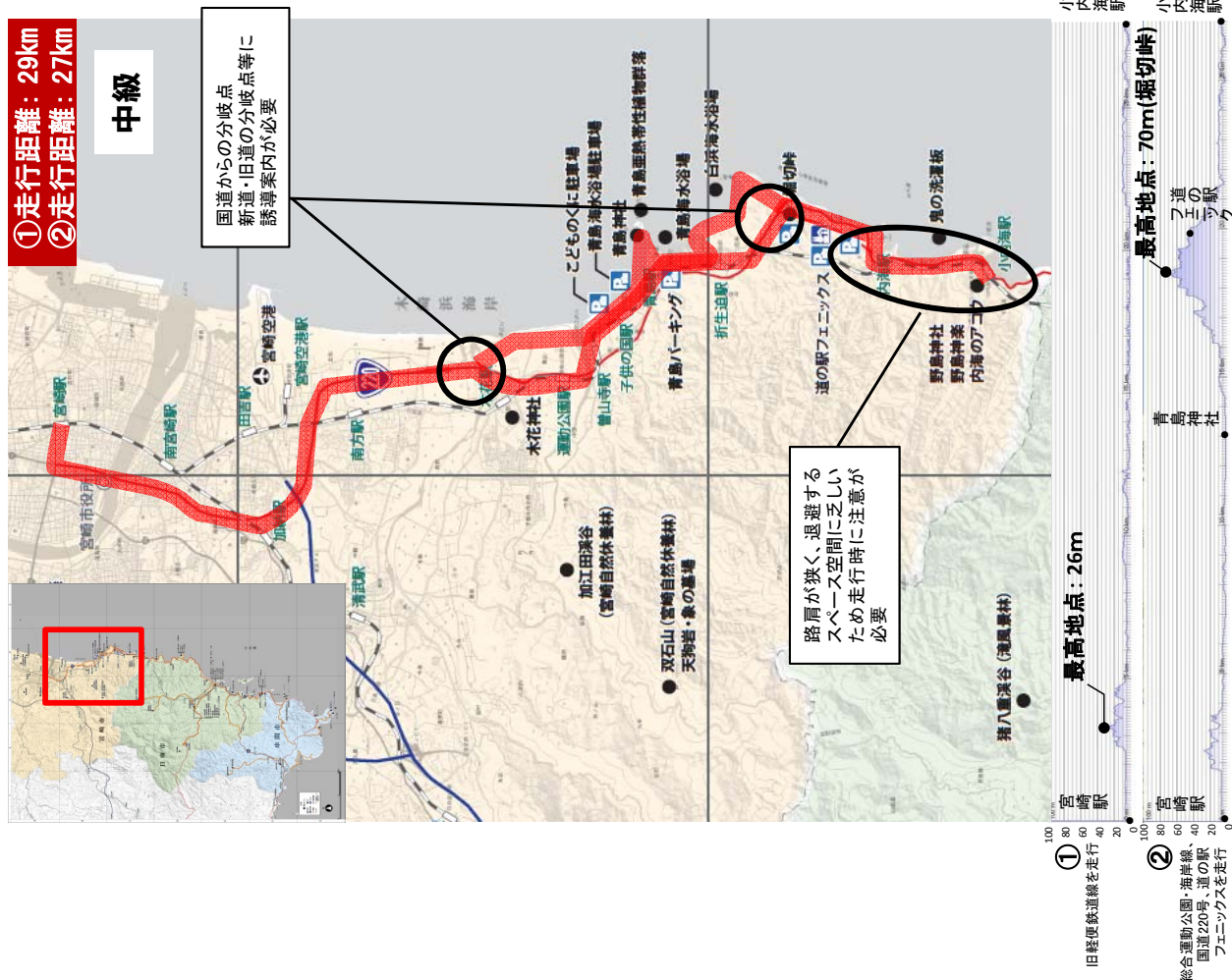
第4章 基本的な対応方針

1. 宮崎市南部海岸沿い・長距離ルート



- ・宮崎駅～JR串間駅付近まで、海岸沿いを走行
- ・ロングライド、上級者向けルート

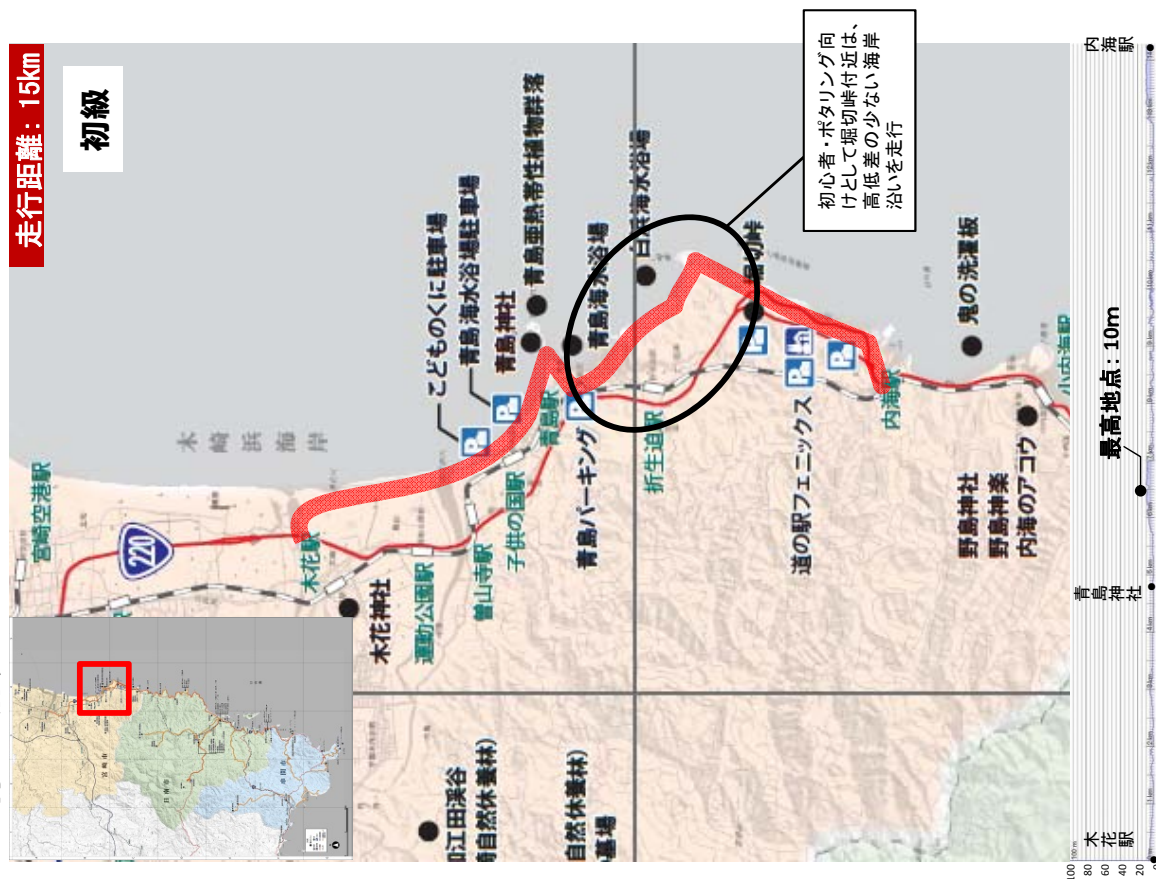
2. 宮崎駅～いるか岬ルート



- ・宮崎駅から宮崎市南端(いるか岬)までを走行
 - ・堀切峠付近は勾配がきつい、景勝地・休憩地が豊富
 - ・トロピカルロード、旧軽便鉄道線は高低差が少なく景観も良い
- ※トンネル部は可能な限り迂回

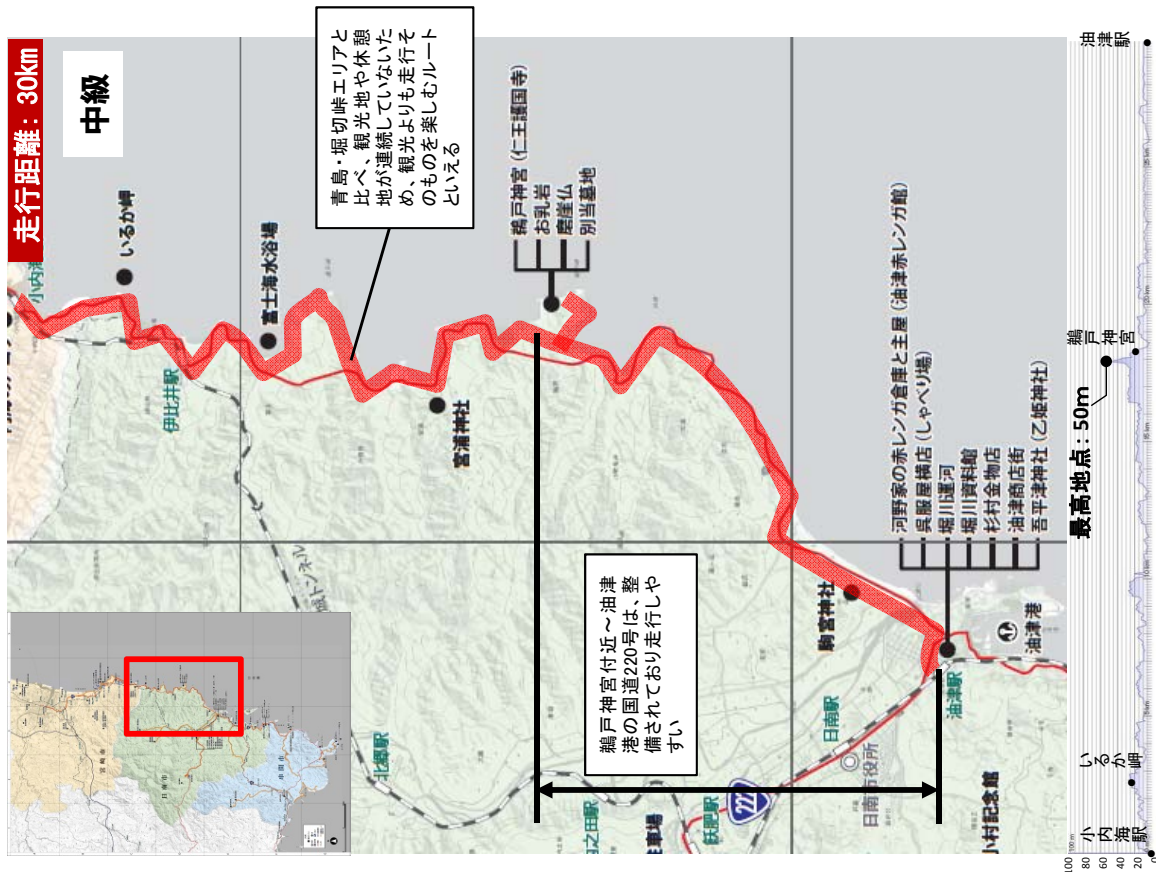
第4章 基本的な対応方針

3. 青島・堀切峠・ポタリング向けルート



- ・堀切峠付近は、海岸沿い(旧軽便鉄道線)を走行
- ・高低差が少なく見どころが多いためポタリングに最適
- ・JR駅を拠点(レンタサイクル・輸利用)としたルート

4. 鵜戸神宮周辺ルート

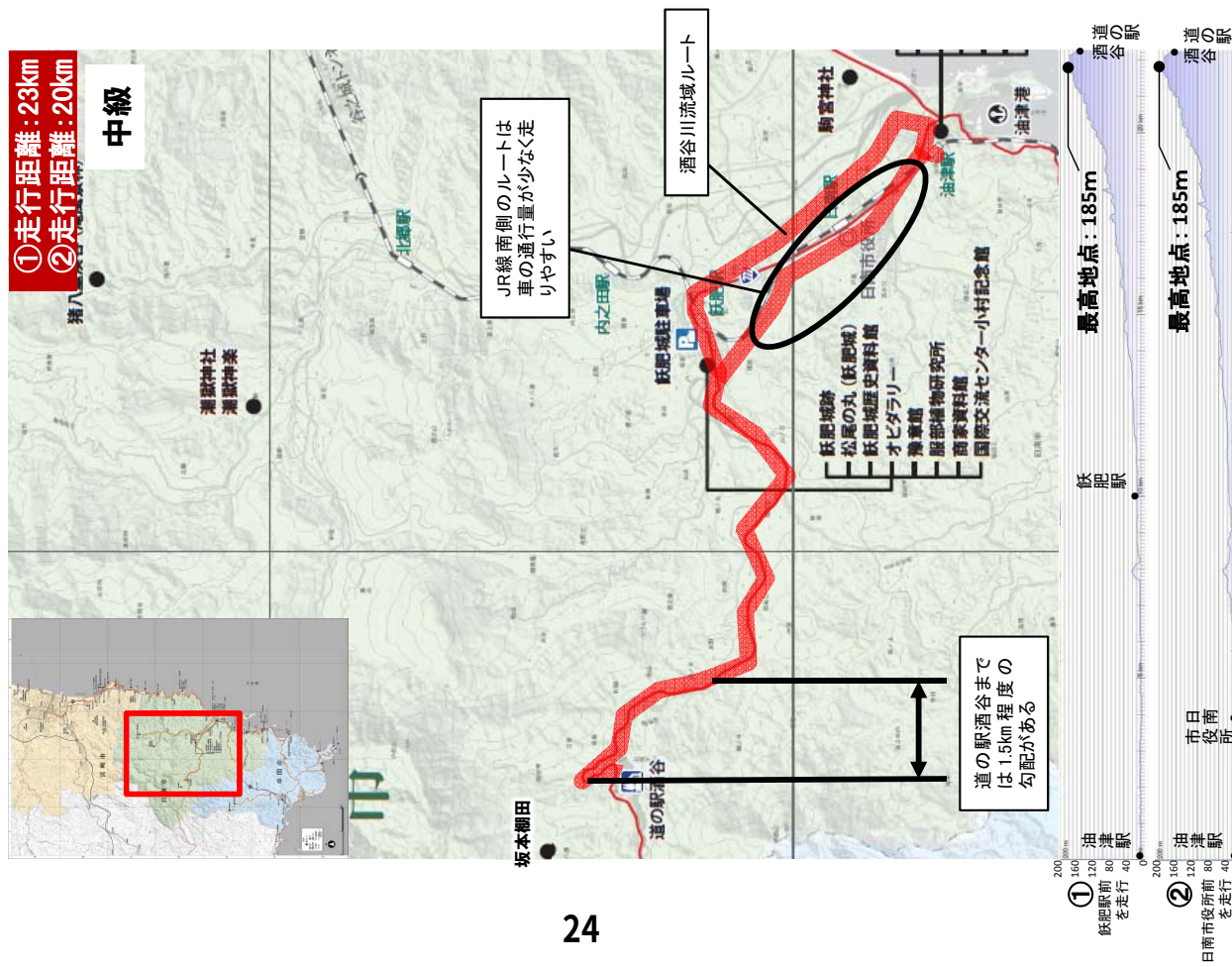


- ・日南市鵜戸神宮周辺を走るルート
- ・鵜戸神宮付近～油津間は整備されており、走行しやすい
- ・JR駅を拠点(レンタサイクル・輸利用)としたルート
- ・油津港があるため海外からの観光客も見込める

※トンネル部は可能な限り迂回

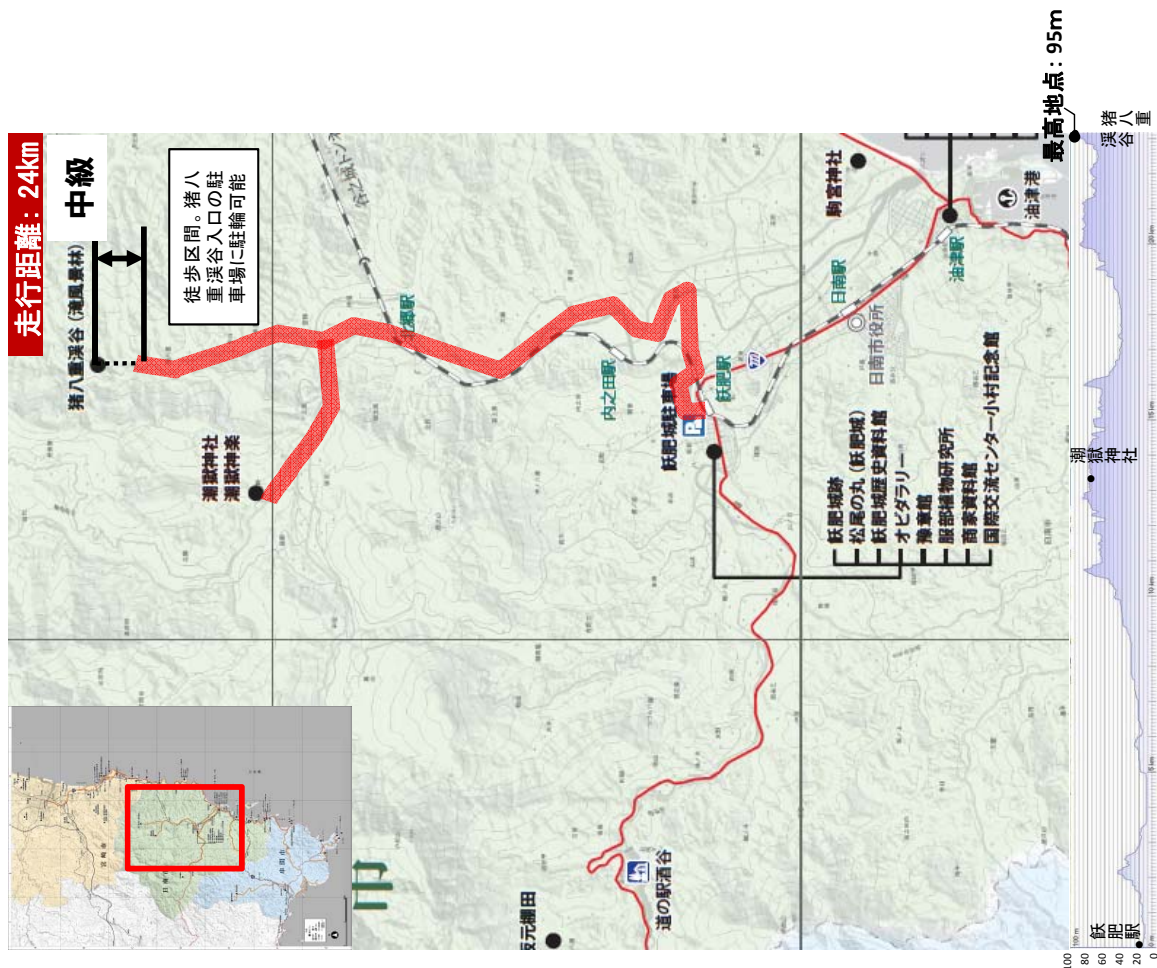
第4章 基本的な対応方針

5. 臼肥城周辺歴史散策ルート



- ・臼肥駅、油津駅を拠点として走行
- ・道の駅酒谷までは木陰が多く、1.5km程度の勾配がある
- ・日南市役所の前を通るルート(国道222号)は車の通行が少ない

6. 季節限定、神楽探訪ルート

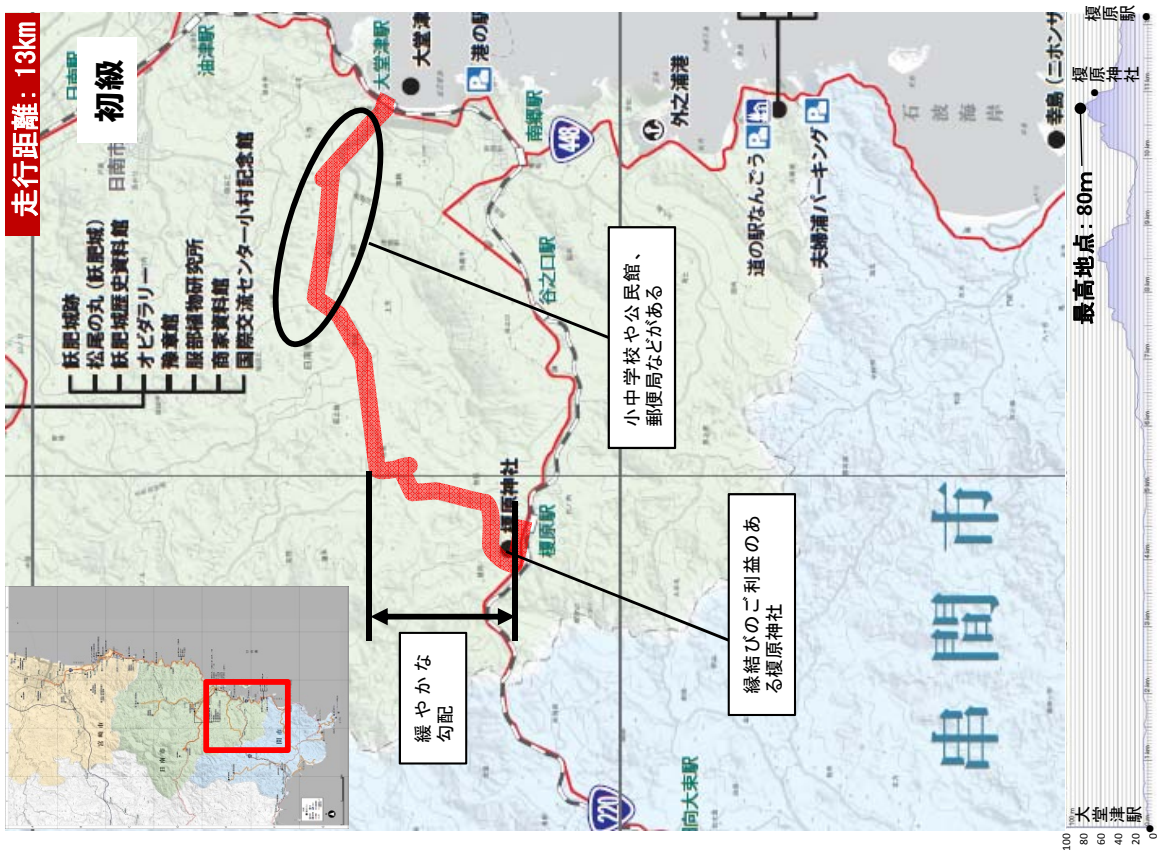


- ・潮獄神社や猪八重溪谷を巡る山道のルート
- ・神楽の時期にあたる夏～秋の訪問を推奨
- ・猪八重溪谷までは徒歩だが、入口の駐車場に駐輪可能

※トンネル部は可能な限り迂回

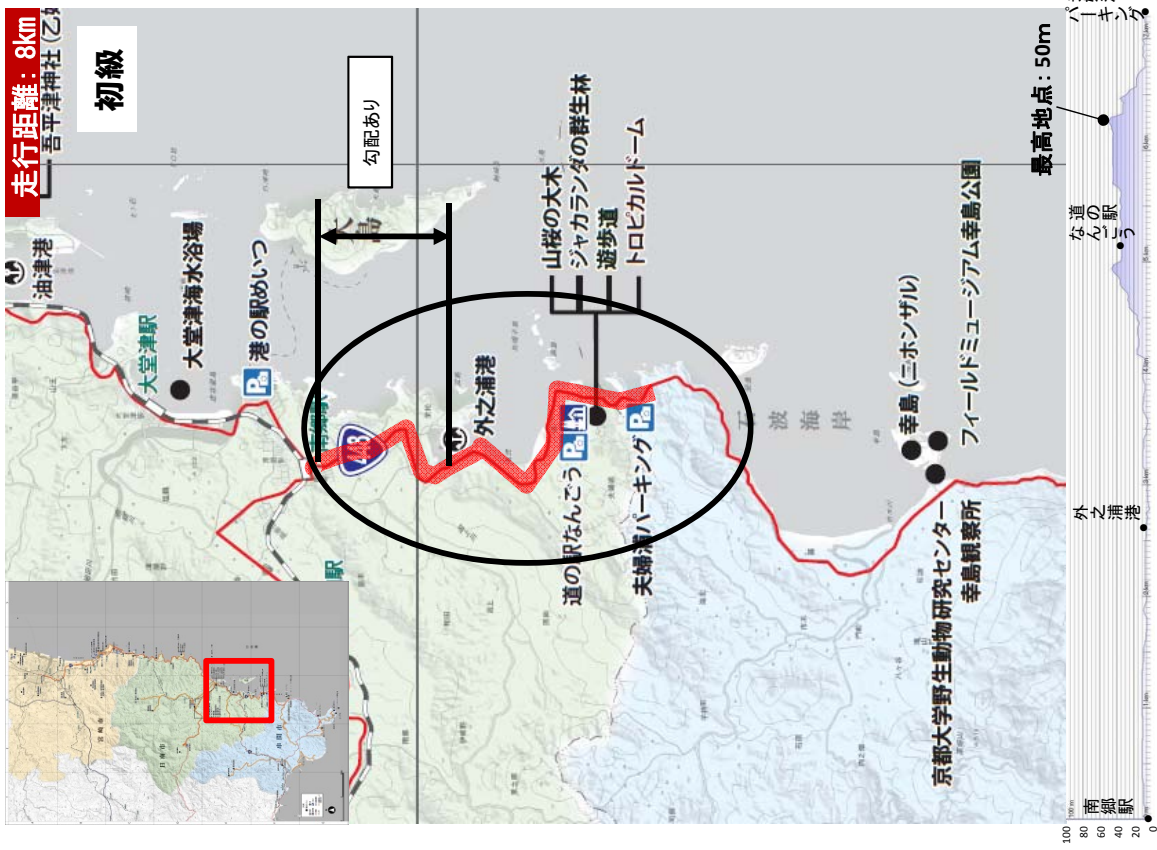
第4章 基本的な対応方針

7.南郷川流域をゆったり走るコース



- ・なだらかな道が続き、通行量の少なくポタリングに向いている
- ・小中学校や公民館、郵便局などがあるエリアを走行する
- ・榎原駅に向かう途中には縁結びの榎原神社がある

8. 県勝景を巡る南郷・海浜沿いルート

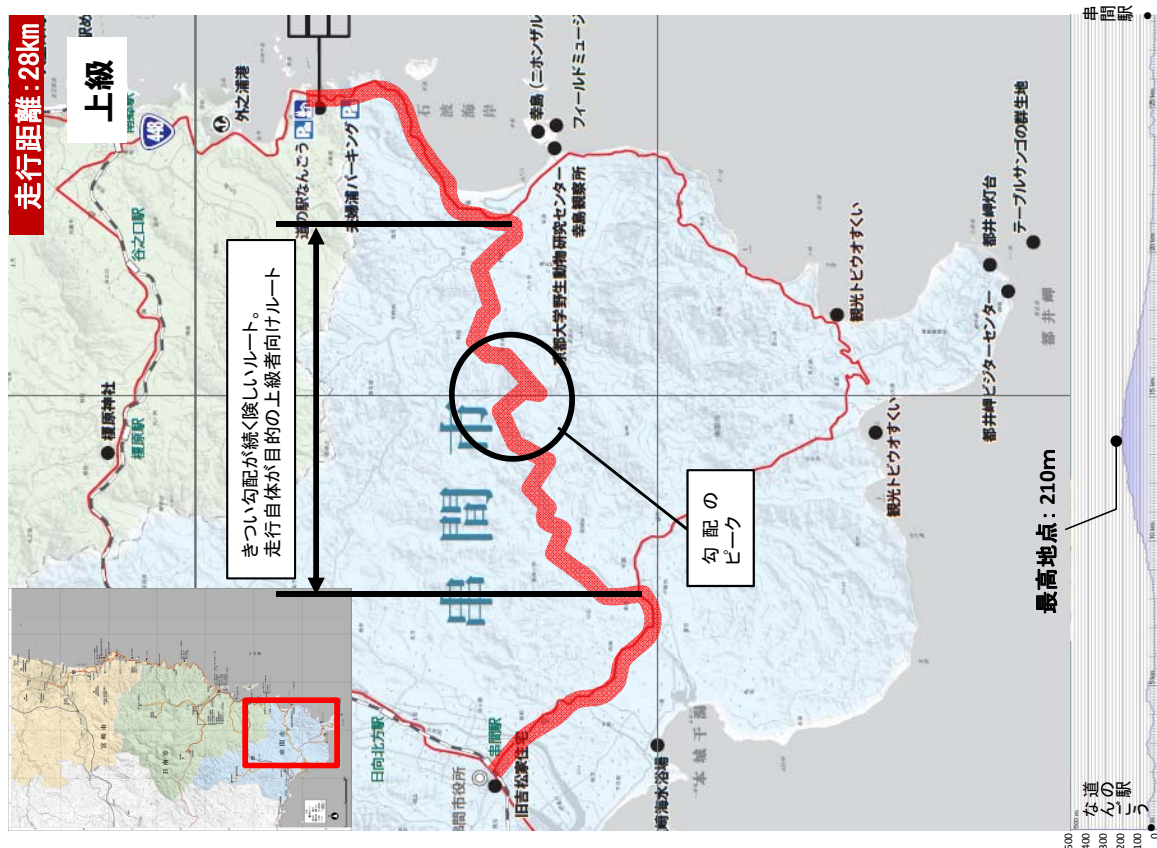


- ・とるぱが多数あり、風景の美しさを味わえるルート
- ・南郷駅～外之浦港に勾配があり、中級者向け

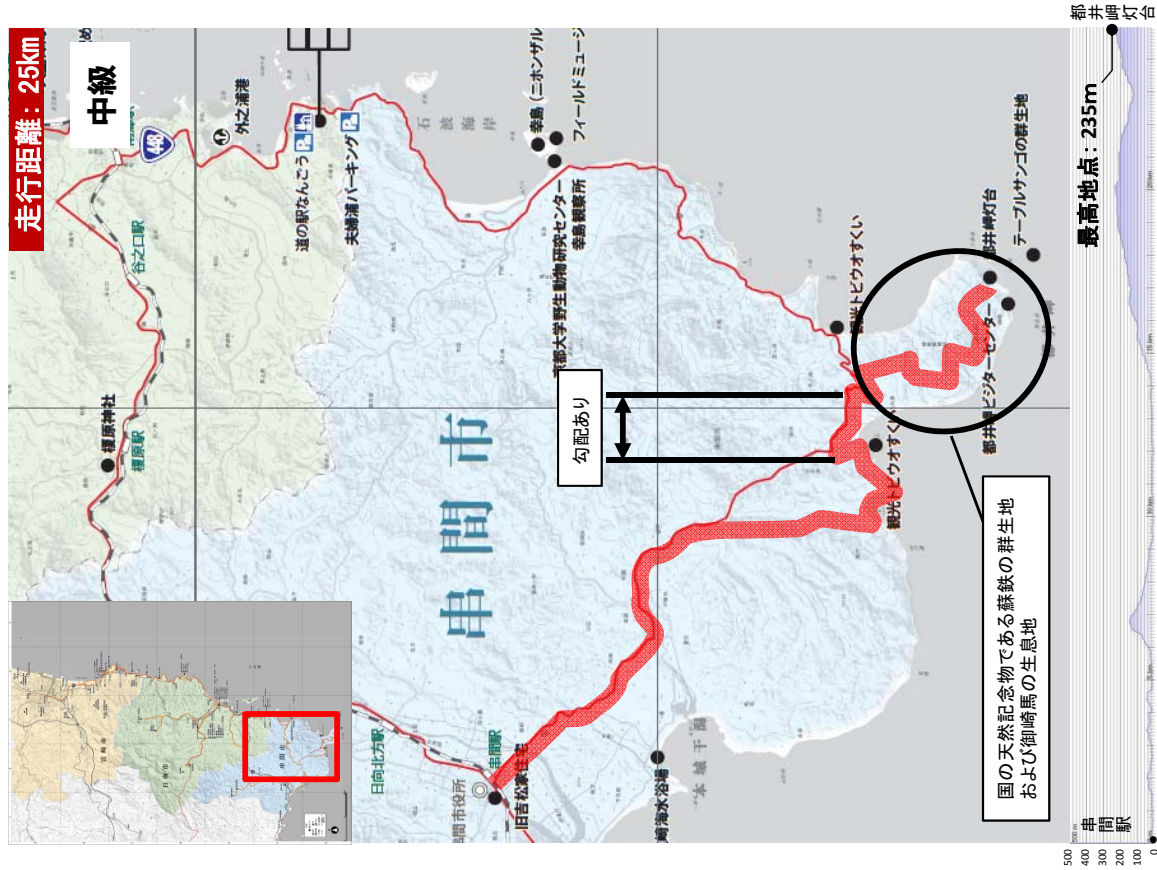
※トンネル部は可能な限り迂回

第4章 基本的な対応方針

9. 上級者向けヒルクライムルート



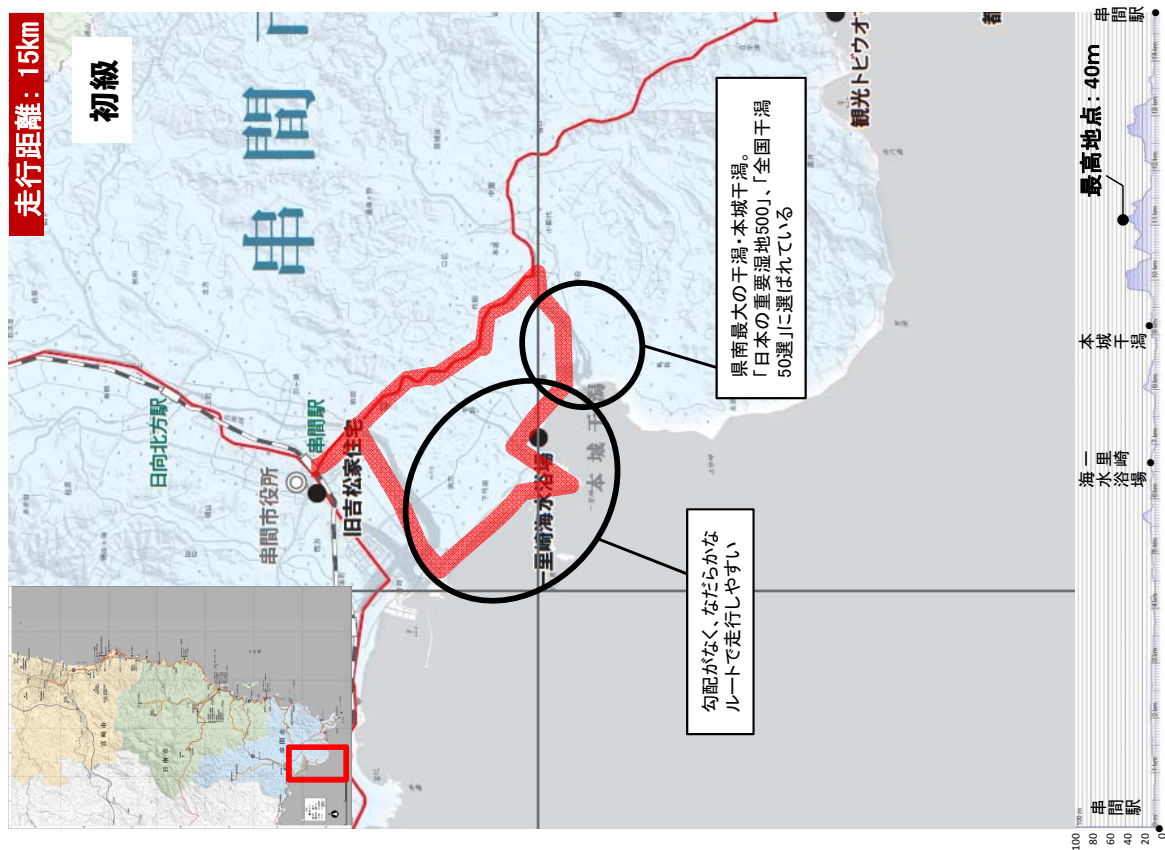
10. 串間市の観光メッカ・都井岬周遊ルート



- ・串間市の最南端、都井岬を走るルート
- ・国の天然記念物の蘇鉄の群生地や御崎馬を見ることが出来る
- ・都井岬ビクターセンターや都井岬灯台などの観光スポットあり

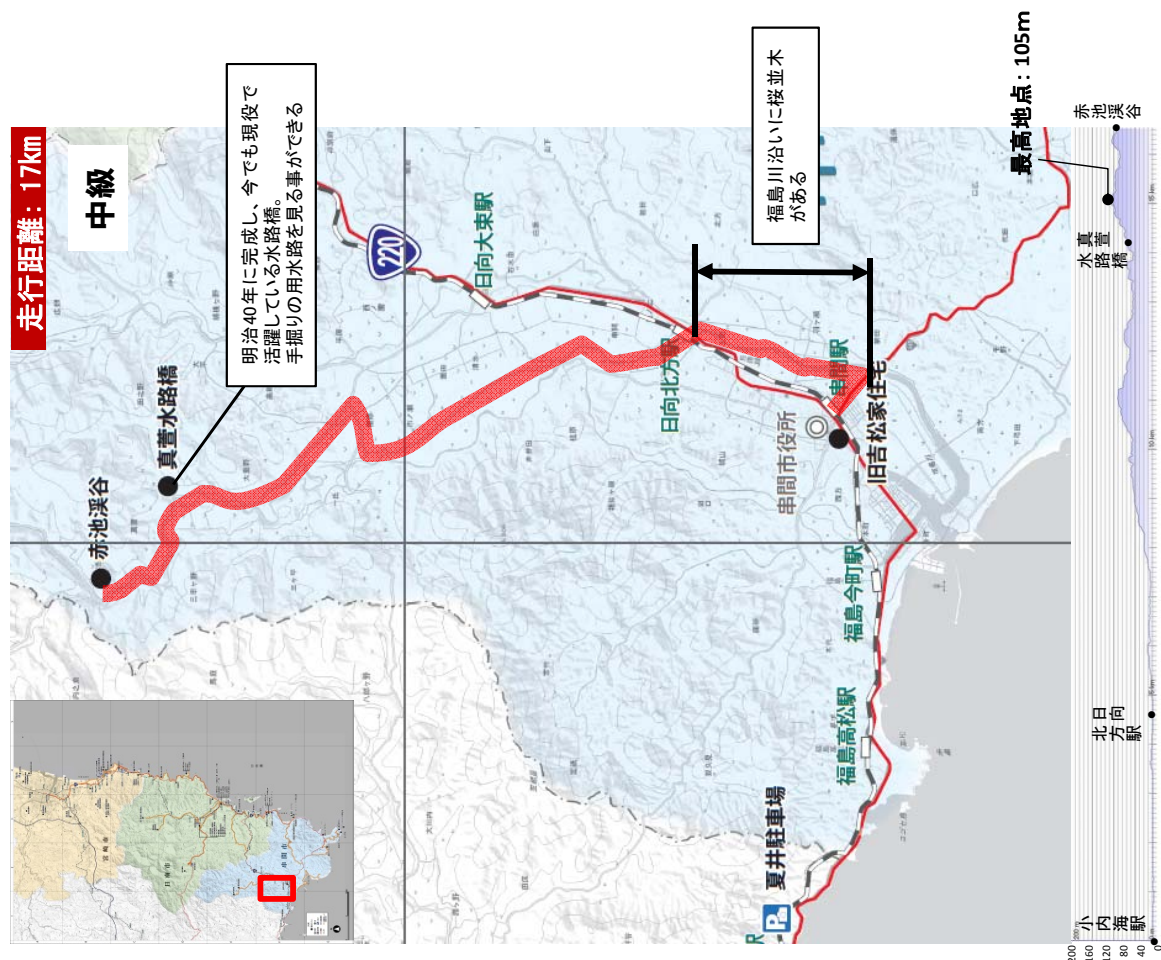
※トンネル部は可能な限り迂回

11. 本城干潟ポタリンググループ



- ・県南最大の干潟、本城干潟周辺を走るルート。本城干潟は「日本の重要湿地500」、「全国干潟50選」の一つ
- ・勾配がなく、なだらかなルートで走行しやすい

12. 福島川・水路橋・赤池溪谷ルート



- ・串間駅～赤池溪谷間を走行
- ・福島川沿いに桜並木がある
- ・水路橋、溪谷と自然豊かなスポットがある
- ・JR駅を拠点(レンタサイクル・輪行利用)としたルート

※トンネル部は可能な限り迂回

第4章 基本的な対応方針

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

➤ 広域的かつ総合的な取組として6つの取組を推進

①日南海岸の実情に応じた自転車走行空間の整備

- ・ 既存道路用地を活かした整備推進
- ・ 走行環境を向上させる新技術の活用推進

④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供

- ・ 国内外サイクリストが憩い、くつろぐことができる場づくり“おもてなし”サービスのに関する情報発信の促進

②サイクリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充

- ・ 様々なシーンを想定したサポート環境の整備推進
- ・ サイクリングロードを案内・誘導するサイン整備推進

⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進

- ・ 既存大会の運営促進及びイベント開催の波及効果を効果的に取り込めるような地域の一体的な取組促進

③サイクリストの利便性を高める取組の推進

- ・ 多様な媒体で有益情報を発信する仕組みや気軽に自転車に乗入れできる利便性の高い地域づくり促進
- ・ 初心者から上級者まで気軽にサイクルできる取組促進

⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた

地域振興の新たな取組

- ・ 官民一体となった新たな取組や地域とサイクルの交流の橋渡しを担う人材育成の促進

第4章 基本的な対応方針

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

①日南海岸の実情に応じた自転車走行空間の整備

NO	内容例
1	連続的なブルーライン設置(コース、主要地までの距離等を明示)
2	快適な自転車走行のための段差解消
3	走りやすい自転車用道路への改良(自転車通行幅員の確保)
4	自転車専用道路の整備(自動車、歩行者との分離)



▲ブルーライン事例(しまなみ海道)

第4章 基本的な対応方針

【参考】自転車走行空間整備検討状況 参考①：交通状況と道路状況を踏まえた整備形態選定の考え方

①現状

交通状況	・速度：市街地部は40km/h以下と速度が低く、郊外部は40km/h以上と高い ・自動車交通量：国道は4000台/日以上の区間が多い								
道路状況	・路肩幅員、自歩道幅員が狭い区間が多い								
自転車 通行空間	<table><tr><td>1</td><td>連続的なブルーライン設置(コース、主要地までの距離等を明示)</td></tr><tr><td>2</td><td>快適な自転車走行のための段差解消</td></tr><tr><td>3</td><td>走りやすい自転車用道路への改良(自転車通行幅員の確保)</td></tr><tr><td>4</td><td>自転車専用道路の整備(自動車、歩行者との分離)</td></tr></table> 【内容例(再掲)】	1	連続的なブルーライン設置(コース、主要地までの距離等を明示)	2	快適な自転車走行のための段差解消	3	走りやすい自転車用道路への改良(自転車通行幅員の確保)	4	自転車専用道路の整備(自動車、歩行者との分離)
1	連続的なブルーライン設置(コース、主要地までの距離等を明示)								
2	快適な自転車走行のための段差解消								
3	走りやすい自転車用道路への改良(自転車通行幅員の確保)								
4	自転車専用道路の整備(自動車、歩行者との分離)								

※上記は国道220号を代表例として記載

②課題

ガイドライン※に基づき、自転車通行空間を早期整備する場合の課題
➤ 交通状況、道路状況より、「自転車道」「自転車専用通行帯」で整備する区間が存在 ➤ 路肩幅員、自歩道幅員が狭く、既存道路用地内での道路空間再配分や道路拡幅による「自転車道」、「自転車専用通行帯」の早期整備は困難

※安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(平成24年11月 国土交通省道路局、警察庁交通局)

③対応

上記課題を踏まえた整備形態の考え方検討が必要
➤ 安全等に配慮した場合、整備形態の考え方はガイドラインと同一が望ましい ➤ 早期整備に向けた当面の対応※は既存道路用地内での対応可能な「車道混在」が現実的 ➤ その場合、日南海岸における「車道混在」の考え方が必要

※東九州道開通による整備効果が発現するまで

第4章 基本的な対応方針

参考②：日南海岸における「車道混在」の場合の整備の考え方

- 検討委員会※の提言(案)では「車道混在」の場合、矢羽根型路面表示を採用
- 日南海岸では維持管理を含めたコスト、施工スピードの観点から矢羽根型路面表示とブルーラインの両方採用を比較検討
- 具体の整備方針は、ガイドラインの改定後に再検討予定

※安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会

矢羽根型路面表示		ブルーライン	
概要	 宮崎市	 しまなみ海道	・ 10m間隔に整備 ・ 青色系 ・ 通行位置と進行方向を明示 ・ 外側線沿いの車線側に整備 ・ 青色系 ・ サイクリングロードであることを明示
更新頻度	・ 自動車の車輪との摩擦で薄くなることにより、更新頻度が高くなる	・ 外側線の更新頻度と同程度	
施工性	・ 矢羽根型に成形する必要があるが、10m置きに配置するため施工スピードは遅い	・ 連続した線であり、施工スピードは速い	
通行空間	・ 自転車とドライバーの双方に、自転車通行位置を示し、実質的に自転車が通行する幅や方向を示す	・ 自転車の通行位置が左側端であることを示すもので、実質的な幅を示すものではない	

第4章 基本的な対応方針

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

②サイクルリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充

NO	内容例
1	案内誘導サインの設置(位置、トイレ、駐輪場、メンテナンス、道路勾配等)
2	適切な間隔でのトイレ施設確保
3	駐輪スペース確保
4	駐輪スタンド設置
5	適切な間隔での空気入れ、工具等設備配置
6	適切な間隔での休憩施設の設置



▲サイン事例(しまなみ海道)

▲駐輪スタンド事例(宮崎市デモン・デ・マルシェ)

第4章 基本的な対応方針

【先進事例紹介】案内誘導サインの設置

事例①：看板式案内誘導サインの事例

- サイクリングロードの路線上に、看板式の案内誘導サインを設置する事例がある。
- 「コース案内サイン」「通行方法案内サイン」「休憩スポット案内サイン」の3種類が主。

■案内誘導サインについて

種類	項目	内容
コース案内サイン	位置	・ 交差点手前 ・ コース分岐点手前 ・ 案内が設置されていない単路部 ・ 縦断勾配がきつい箇所
	内容	・ 終点までの距離 ・ 縦断勾配
通行方法案内サイン	位置	・ 通行方法に注意が必要となる箇所（橋梁部、トンネル部など）
	内容	・ 通行方法
休憩スポット案内サイン	位置	・ トイレ、駐輪場、メンテナンス等の休憩スポット手前
	内容	・ 休憩スポットで利用できる設備案内（トイレ、給水、空気入れ等）

【参考】しまなみ海道のサイン



第4章 基本的な対応方針

事例②：路面シート式案内誘導サイン事例

- 交差点手前やコースの分岐点手前では、路面上に終点までの方向と距離を示す路面表示シートを設置し、サイクリングロード案内を行う事例がある。
- 路面表示シートの間隔があく場合は、単路部においても路面表示シートを設置し、利便性を向上させる事例もある。

■路面表示シートについて

項目	内容
整備対象	・ サイクリングロード全線
位置	・ 自転車通行空間内 ・ 交差点手前、コース分岐点手前 ・ 路面表示シートが設置されていない単路部
幅員	・ 20cm程度
色	・ 白地に青文字

【事例】しまなみ海道の路面表示シート



第4章 基本的な対応方針

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

③サイクリストの利便性を高める取組の推進

NO	内容例
1	わかりやすいサイクルマップ作成
2	多様な利用者にわかりやすい情報発信(HP等)
3	緊急時出張サービス開始(自転車屋等)
4	サイクルトレイン、サイクルバス等サービス開始
5	駅周辺等に着替え室、コインロッカー設置
6	利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始 (一時預かり、部屋持込可、メンテナンス室等)
7	レンタサイクルサービス(規模・運営)
8	自転車運転マナー向上策の推進



▲サイクルトレイン事例



▲サイクリングマップ事例

第4章 基本的な対応方針

第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供

NO	内容例
1	利用者が立ち寄りやすい飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供
2	道の駅、港の駅等との連携した取組み
3	外国客が宿泊可能な環境の整備推進



TOP » 自転車の休憩所

自転車の休憩所

なごみサポーター
自転車の休憩所

奈良県では、自転車利用者の皆様がサイクリング中に気軽に立ち寄って休憩していただける場所として「自転車の休憩所」を認定しています

楽しみ方

- 県内全域を楽しむ
- ならクリストボイス
- おスモエース駅
- 鶴巻・フォートギヤリー

おもてなし

- 県民、県外
- ならクルタニニナル
- 休憩
- 自転車の休憩所
- 泊まる
- サイクリストでよい土産
- 立ち寄る
- サイクリストでよい観光施設
- 自転車を洗車
- 自転車修理サービス
- 手荷物預けサービス
- メンテナンスする
- まちの自転車屋さん
- 自転車を借りる
- レンタサイクル
- サイクリストの仲間
- ならクルタニニナル

マップ

- ならクルタニニナル

自転車の休憩所のサービス

自転車の休憩所のサービス

奈良県自転車利用総合案内サイト

奈良県の休憩所に申請を希望される施設の方へ

奈良県自転車利用総合案内サイト

奈良県自転車利用総合案内サイト

アート＆カルチャー タウン&レジャージュアーク ロングステイ マガジン

サイクリング

飛騨里山サイクリング

サービスの概要 ツアー一覧 クチコミ その他 FAQ お問い合わせ

暮らしを旅するガイドツアー

飛騨の暮らしを旅する、最もビュラーなガイドツアーです。

自転車を通して見える景色は、私たちが伝えないありのままの姿を現しています。

スローペースのサイクリングで、季節ごとの農村の美しさを感じるだけでなく、道路を精進が里山に広がる文化・歴史を丁寧にご案内します。

また、こちらで用意する自転車は「LGS-FIVE」というモデル。軽やかなカーボンの自転車でも田んぼの間を走ると、きっと日本の美しさを再認識するはずです。

GOOD DESIGN AWARD 2013

5 進行中のツアー

スタンダード ガイドツアー

ここにしかない、日本の美しい里山をめぐ

無期限

2016/9/20 - 2016/12/20

出典：飛騨里山サイクリングHP

▲奈良サイクリングHP

▲飛騨里山サイクリングHP

36

第2節 日南海岸サイクルズを支える広域的かつ総合的な取組の推進

NO	内容例
1	走行会、アースライド開催(小・中規模イベント)
2	ツールド日本大会開催(大規模イベント)

▲アースライド宮崎

第4章 基本的な対応方針

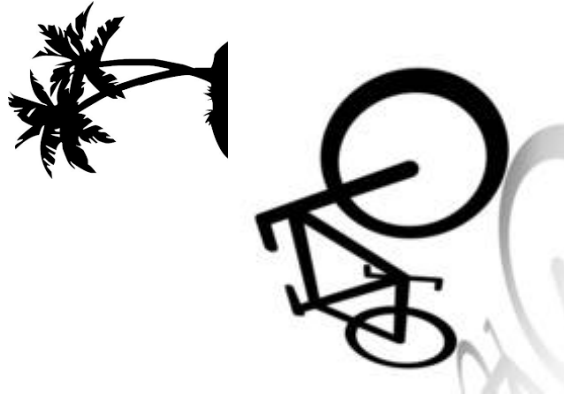
第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組

NO	内容例
1	サイクルツアーガイドの育成
2	沿線施設と連携した特典制度の導入
3	コミュニティFM開設
4	観光協会や観光施設等との連携企画
5	旅行会社とのコラボ企画(日南サイクルをメインとしたパッケツアー企画)



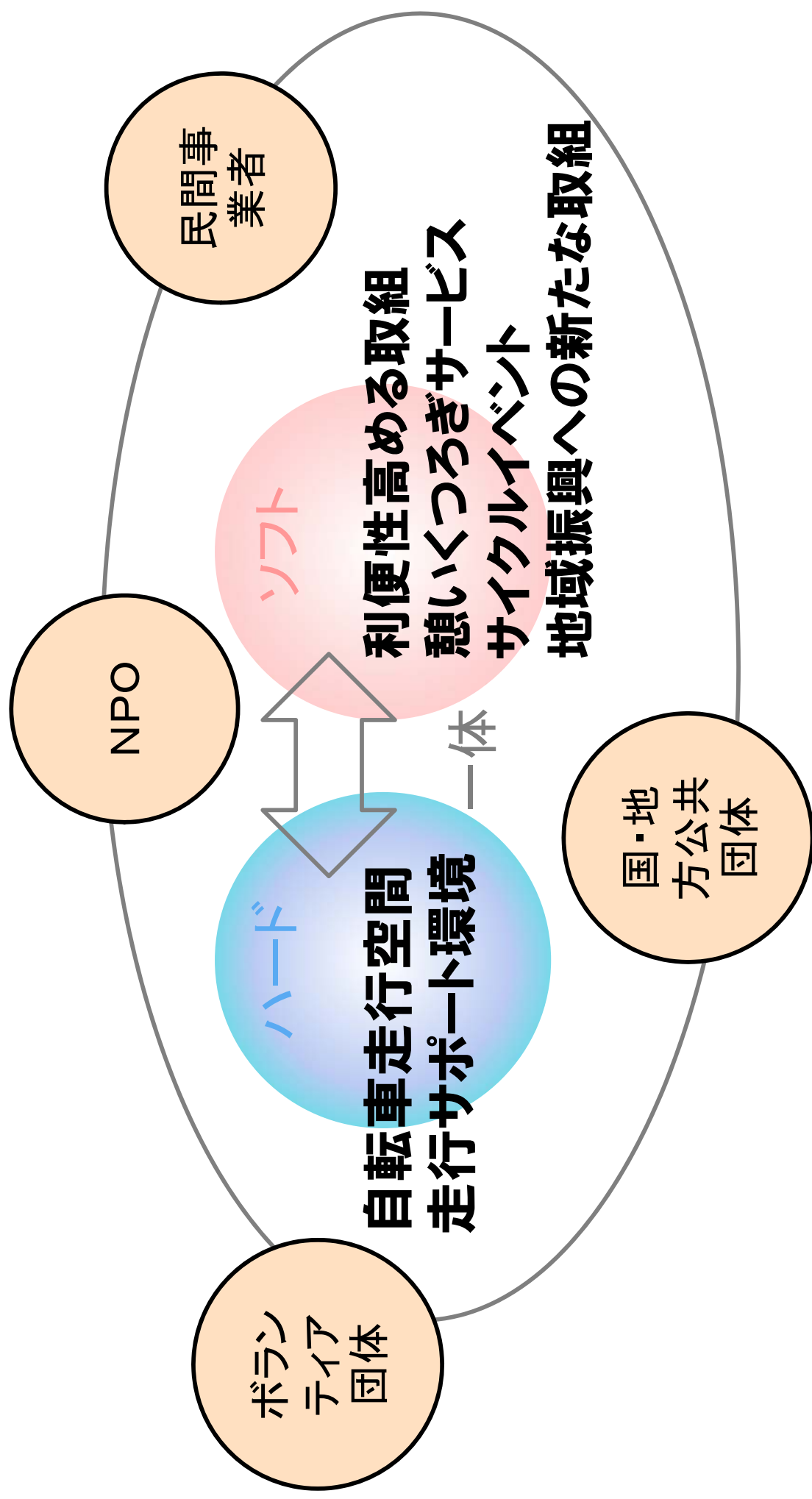
第5章 構想の実現に向けて



日南海岸サイクルツーリズム協議会

第5章 構想の実現に向けて

短中長期な視点で多様な主体と連携した効率的かつ重点的な取組推進



日南海岸サイクルツーリズム協議会 名簿

平成28年2月23日現在

◎会長、○副会長、※1 企画部会長、※2 整備部会長

宮崎市長	戸敷 正
日南市長	崎田 恭平◎
串間市長	野辺 修光
宮崎県総合政策部 次長	金子 洋士
宮崎県商工観光労働部観光経済交流局長	武田 宗仁
宮崎県県土整備部技術次長（道路・河川・港湾担当）	東 憲之介
国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所長	竹林 秀基○
宮崎大学地域資源創成研究センター 教授	熊野 稔 ※1
宮崎大学地域資源創成研究センター 教授	出口 近士※2

（敬称略）

（事務局）

日南市建設課、国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所交通対策課

日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会 名簿

平成28年2月23日現在

◎会長、○副会長

宮崎大学地域資源創成研究センター 教授	熊野 稔◎
日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 会長	長友 治○
道の駅「なんごう」駅長	横山 正
道の駅「フェニックス」駅長	金子 雄希
宮崎県サイクリング協会 会長	松村 隆
宮崎市サイクリング協会 会長	鈴木 一成
日南市サイクリング協会 会長	坂口 衛
串間市サイクリング協会 会長	崎村 英樹
宮崎商工会議所 課長	長谷川 主税
日南商工会議所 事務局長兼業務課長	枡屋 泰知
串間商工会議所 経営指導員	清水 裕一郎
宮崎市観光協会 事務局長	高島 弘行
日南市観光協会 事務局長	河野 良則
串間市観光協会 事務局長	桐山 文子
宮崎市 観光商工部 スポーツランド推進室 室長	宮本 兼治
日南市 地域振興課長	柳沼平八郎
日南市 観光・スポーツ課長	黒岩 保雄
串間市 生涯学習課長	増田 仁
串間市 商工観光スポーツランド推進課長	高橋 一哉
宮崎県 総合政策部 総合交通課長	野口 和彦
宮崎県 商工観光労働部 観光経済交流局 観光推進課長	福嶋 清美
国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 交通対策課長 (オブザーバー)	那須 一彦
宮崎県警察本部 交通規制課 規制補佐	黒田雄一郎
宮崎南警察署 交通課長	佐藤 健次
日南警察署 交通課長	谷 清徳
串間警察署 地域交通課長	永山 貴広

(敬称略)

(事務局)

宮崎市スポーツランド推進室、日南市建設課、串間市商工観光スポーツランド推進課

日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会 名簿

平成28年2月23日現在

◎会長、○副会長

宮崎大学地域資源創成研究センター 教授

宮崎県サイクリング協会 会長

宮崎市サイクリング協会 会長

日南市サイクリング協会 会長

串間市サイクリング協会 会長

宮崎市 都市整備部 都市計画課長

日南市 建設課長

串間市 都市建設課長

宮崎県 県土整備部 技術企画課長

宮崎土木事務所 課長

日南土木事務所 課長

串間土木事務所 課長

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 交通対策課長
(オブザーバー)

宮崎県警察本部 交通規制課 規制補佐

宮崎南警察署 交通課長

日南警察署 交通課長

串間警察署 地域交通課長

(事務局)

国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所交通対策課

出口 近士◎

松村 隆

鈴木 一成

坂口 衛

崎村 英樹

川崎 剛嗣

安藤 丈喜

武田 修

木下 啓二

江藤 彰泰

黒木 正行

鈴木 宣生

那須 一彦○

黒田雄一郎

佐藤 健次

谷 清徳

永山 貴広

(敬称略)

日南海岸サイクルツーリズム協議会における検討経緯

平成28年2月23日現在

平成27年10月30日

第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会

- ・協議会設置について
- ・自転車関連施策の現状
- ・近年の県南地域における取組事例
- ・今後の取組について

平成27年12月15日～平成27年12月25日

日南海岸サイクルツーリズム魅力発掘調査（企画部会アンケート）

- ・日南海岸サイクルツーリズムにおける魅力スポット
- ・魅力スポットを効果的に周遊するためのサイクリングコース
- ・サイクリストの利便性、快適性を向上させるためのアイデア

平成28年1月15日

第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会

- ・日南海岸の現状
- ・目指す将来像
- ・サイクリングルート
- ・取組内容
- ・今後の計画

平成28年2月1日

第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会

- ・企画部会の協議結果確認
- ・自転車走行環境に関する取組
- ・自転車走行へのサポート環境
- ・今後の計画

平成28年2月23日

第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会

- ・日南海岸サイクルツーリズム構想（案）
- ・次年度の取組について
- ・「寄ってねポイント（休憩スポット）」の提案